

振付・構成・演出：THOMAS NOONE
トーマス・ヌーン

Only a sudden flurry of gestures

突然に溢れる身振りだけで——

**INTEGRATED
DANCE COMPANY**
響-Kyo

インテグレイテッド・ダンス・カンパニー響-Kyo第5回公演

2018年

3月3日(土) 18:00開演

3月4日(日) 15:00開演

@吉祥寺シアター

振付・構成・演出：平原 慎太郎

カブリエル



作品: les gens de tokyo Photo: 青木 司

2018年
3月3日(土) 17:30開場、18:00開演
3月4日(日) 14:30開場、15:00開演
@吉祥寺シアター

アフター・トーク

両日とも終演後

詳細はウェブページをご参照ください。

*手話通訳の必要な方は、1週間前までに
問い合わせ先までお知らせください。



作品: Open State Photo: Klara Lucznik

Only a sudden flurry of gestures

突然に溢れる身振りだけで——

この作品は言語の探索である。どのようにして抽象的な仕草が意味を獲得し、どのように観客が見ている動きを頭の中で言語化し、この動きと理解の関係性をコントロールしたり繋いだりしているかのメカニズムを探求する。また、言語というものがいかに個人的なものでありつつコミュニティのものであるか、個人主義が一体化したグループの中に存在し得るかという探求でもある。そして、さまざまな動きからどのように全体が共有し得る動きの質感が生まれてくるかの模索でもある。

振付・構成・演出: THOMAS NOONE
出演: 天方 真帆、小佐野 智美、樋浦 瞳



Photo: Paul Emerson

THOMAS NOONE トーマス・ヌーン

フィジカルでアスレチックなスタイルのコンテンポラリーダンス作品で定評のある振付家。2001年、バルセロナに設立した自身のカンパニーでの作品制作の他に、SATIシアターのレジデント・アーティスト、バルセロナの Grec Festival や Mercat de Les Flors などでのコラボレーション作品はヨーロッパ、南米へも紹介される。スウェーデンの Norrdans、フランスの the Ballet du Rhin、ワシントンの Company E、リマの Ballet Nacional de Peru などへの振り付けの他に、英国 Stoppgap といったインテグレイテッド・ダンス・カンパニーにも作品を提供。2006年より SATIシアターのダンスサット!フェスティバルの芸術監督兼ダンス・プログラムのコンサルタント。2009年からインテグレイテッド・ダンス・ウィークもオーガナイズしている。

Thomasのダンス・ワークショップを2月6日に行います。詳細はウェブ・ページをご覧ください。

カブリエル

「カブリエル=被り得る」。オサムシの一種はカタツムリを捕食する時にその殻の中に侵入し中の肉を食す。その最中、カタツムリと認識しているものは既に侵入したオサムシにより、カタツムリではなくなるのだが、しかし、殻を見るだけでは依然カタツムリのままだ。内容と外観の違いは想像力で補完する他ない。殻がある故の内と外の隔たり、真実と見てくれの差、殻を被り名乗る限り外と内がカタカナで表記される訳だが、果たしてアイデンティティというのはどちらに宿るのか。「カブリエル=カブリエル」。キリスト教など西洋宗教において登場する天使の名前、その名を被り、天使の本質を食し得る人格とは、その姿を見る事とは、今あるものとは所詮見えてるだけに過ぎない。

振付・構成・演出: 平原 慎太郎
出演: 石和田 尚子、泉 葉子、鈴木 隆司、西村 大樹、三橋 俊平、吉澤 慎吾



Photo: 高橋 エイジ

平原 慎太郎

1981年、北海道出身。ダンサー、振付、演劇のステージングなどを中心とし、大植真太郎、Carmen Werner、森山未来、コンドルズ、劇団イキウメ、小林賢太郎などの作品に携わる。塩田千春、播磨みどりなどの現代美術家とも精力的に交流している。2011年、韓国国際モダンダンスコンペティション最優秀振付家賞。15年、小樽市文化奨励賞、16年、トヨタ コレオグラフィアワードにて次代を担う振付家賞、オーディエンス賞をW受賞。16年、日本ダンスフォーラム賞受賞。

スタッフ/照明: 三浦 あさ子 音響: 牛川 紀政 舞台監督: 原口 佳子
制作: 瀧本 麻璃英 ミューズ・カンパニー(河野 桃子) 総括: 伊地知 裕子

Integrated Dance Company 響-Kyo

2014年、車椅子を利用するダンサーを交え、多様な身体性を活かして新しい舞踊表現を拓いていくべく設立。社会とアートをつなぐ活動として注目を集める。2015年2月には、鈴木ユキオ振付による「知るということ」、7月にAdam Benjamin振付「OPEN STATE」、同年11月には岩淵多喜子による振付で「Border-境界」を、2017年2月にはDidier Theron振付による「les gens de tokyo」、スズキ拓朗振付による「パワボール」上演、好評を博す。2017年9月に英国PlymouthとBristolの二都市で公演、大きな反響を呼ぶ。プロデューサー/クリエイティブ・ディレクター: 伊地知裕子

入場料(全席自由)

一般 前売り3,500円 当日4,000円
学生・障害者割引 前売り3,000円 当日3,500円

(当日、学生証、障害者手帳をお持ちください)

*一人ではお越しになれない障害者の介助の方は1名のみ無料。

*会場の都合により車イス等をご利用の方はできるだけ2日前までに
お申込みください。

*割引料金はクリエイティブ・アート実行委員会のみで扱います。

チケット発売

一般申込専用

e+(イープラス) <http://eplus.jp>

カルテット・オンライン(手数料、無料)

<http://www.quartet-online.net/ticket/5thkyo>

(公財)武蔵野文化事業団チケット予約

TEL:0422-54-2011

URL:<https://yyk1.ka-ruku.com/musashino-t/>

障害のある方、学生申込専用

クリエイティブ・アート実行委員会

<http://www.musekk.co.jp>

(Webから予約申し込み、郵便振替で送金後、チケット送付)

会場・アクセス

吉祥寺シアター

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目33番22号

TEL:0422-22-0911



JR中央線・京王井の頭線
吉祥寺駅北口下車 徒歩5分

*車椅子でお越しの方は受付で
会場椅子席までご案内します。

お問合せ:

クリエイティブ・アート実行委員会(事務局: ミューズ・カンパニー)

〒107-0052 東京都港区赤坂6-2-5-201

電話03-6426-5182 Fax03-6426-5183

e-mail: Musekk@aol.com URL: <http://www.musekk.co.jp>

facebook: <https://www.facebook.com/artmusekk>